

伊賀市 事務事業評価シート

経常的事務事業

事業名	612	名称	ごみ収集経費	会計	01	名称	一般会計
基本施策	24		ごみを減らす生活を送る	款	04		衛生費
				項	02		清掃費
				目	02		塵芥処理費
担当部課名	生活環境部清掃事業課			細目	101		ごみ収集経費
作成者氏名	福田 伸次	連絡先	20-1050	細々目	01		ごみ収集経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市民から排出される一般廃棄物(ごみ)の委託業者による円滑な収集	円滑なごみ収集、適正なごみ処理、収集したごみのリサイクルの促進。
本年度事業内容	ごみ収集業務の委託業務 ごみ収集業務の統一(収集ごみの種別及び回数等) 平成19年度ごみ収集計画表(カレンダー)の作成及び配布 自治会によるごみ集積場の新設及び改修に対する事業費の支給	
根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
支出内訳(千円)	事業費(B)	280,214	290,007	303,232
	委託料	277,656	285,292	298,397
	印刷製本費	788	1,334	1,334
	原材料費	1,476	2,500	2,500
	その他	294	881	1,001
合計(A+B)		281,654	291,447	304,672
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		281,654	291,447	304,672
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
排出ごみの減量	トン	25,572	25,316	25,062			
排出ごみの再資源化量	トン	7,404	7,663	7,931			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
一般家庭から排出されるごみの減量	指定ごみ袋制度の導入と合わせ、6%の減量を目指す(H23 / H17)	トン	25,572 目標 ( )	25,316	25,062
一般家庭から排出されるごみの再利用	指定ごみ袋制度の導入と合わせ、3.5%の再利用率を目指す(H23 / H17)	トン	7,404 目標 ( )	7,663	7,931

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

ごみ収集計画表(カレンダー)の印刷発注及びごみ収集業務の委託については、平成16年度には、各支所において、発注していましたが、本庁で発注することにより、経費の節減を図った。又、委託業務についても、集約し、委託することにより、事務の簡素化を図った。ごみ収集業務の統一(ごみの種別及び収集回数)に取り組む。
---

評価	有効性	4	指定ごみ袋制度(ごみ袋の有料)の実施は、ごみの減量を目的の一つとしているが、反面、不法投棄の増加が考えられ、不法投棄の防止の啓発、パトロールの実施により、対応を要する。	総合評価 <b>A</b>
	達成度	3		
	効率性	3		